

みなさまの声を聞かせください ～村長へのたより～



村では、地域と行政が一体となって「住みよい街づくり」を進めるため、皆さんが日頃思っている村政へのご意見やご要望を随時受け付けています。

“村長へのたより”の送り方

専用の投函箱に



専用の投函箱「あなたの声を村政に～村長へのたより」が村の公共施設7カ所に設置されています。用紙に必要事項を記入後、投函してください。

《設置場所》

役場、中央公民館、地域交流館みほふれ愛プラザ、保健センター、光と風の丘公園クラブハウス、文化財センター、老人福祉センター

※手紙を回収するまでにお時間をいただく場合がございます。ご了承ください。



専用の用紙を郵送で

上記の専用の投函箱脇に、村長へのたより専用の用紙が備え付けてあります。用紙に必要事項を記入後、のり付けして郵便ポストに投函してください。



公式ホームページからメールで

村公式ホームページのトップページ下部に「お問い合わせ」がありますので、総務課宛てに送付してください。

※意見・要望以外の業務に関する問い合わせは、それぞれの担当課宛てに送付してください。

■問合せ 総務課広報広聴係 ☎029-885-0340(内)205



みほ文芸

正調俳諧 日和吟社 字結び「遠・足」(一字以上詠み込み)

春の陽気と初音につられ花野散歩の遠まわり
遠き宇宙に思いを馳せて量り知れない母の愛
青葉明るい遠野の里の民話聞きほれ旅の人
セピア色した遠足写真ニューム水筒ぬるい水
自粛解除が遠退く日々に家庭菜園真つ盛り
一人一人が環境守り永遠に輝け青い地球
老いるシヨックよ足腰萎えて耳は遠くにボケも来た
ついていけないIT時代遠い昭和が懐かしい
春の遠足みやげは笑顔「楽しかった」のその言葉
餌を蹴散らし好みを選ぶ庭の餌代細き足
「後は頼む」と遠くへ逝った亡夫はいつでも傍に居る
増える対立分断社会自由平和は遠い道
味が足りない私の俚語は甘さ辛さの俚語心
足は大事と云いつつ我が身膝の激痛躓這い
柿の若葉の下から見える遠い青空孫の声
春の喜び爽やか告げる遠い孫とのかしわ餅
母の手造りのり弁持ったのし遠足なつかしい
日々の幸せ噛み締め生きる今日もくつきり遠筑波
酔った夫婦の山吹色にとろり寝て聞く遠蛙
胸の思いを打ち明けたいに未だ逢えない遠い人
娘背負って買物炊事足は氣力じゃ孫むりだ

五月の俳句 (題 当季雑詠)

産土の鎮もる境内松の花
啄木の謡耳に流れる春の空
こりこりと葉隠れの梅太りけり

駆け抜けた春を追いかけ三春の地
どうなるの変異ウィルス春嵐
ほろ苦きあけびの新芽酒のあて

柏餅はおばり男の子の力沸く
白バラの蕾ほんのり紅兆す

菖蒲湯やピンピンコロリ声高に
足もとに雲の流れる代田かな

経塚に比叡の教え春落葉
五月雨るまなうら宥め辞書を引く



- 小園江久美
- 井戸賀蘇道
- 酒川夢花
- 塚本夏雲
- 高橋一步
- 上野八千代
- 増尾青蓮
- 伊藤葉子
- 石戸律華
- 関根秀子
- 山崎笑子
- 門脇悠美
- 山岡亜子
- 長谷川悦子
- 沼寄朋香
- 山岸錦洋
- 木村幸子
- 田島草実
- 飯塚筑風
- 篠原美千代
- 山崎泰弘
- (五十首順)
- 青野安佐子
- 石毛恵美子
- 市川紀行
- 海道民子
- 木澤はしめ
- 小林美佐恵
- 高柳幸子
- 田島早苗
- 中島輝子
- 長田敏笑
- 増尾尚子
- 松本秀子